



# のご屋根展開催報告

ご来場、ご協力、  
ありがとう  
ございました

谷中のご屋根展 ～藍染川ファクトリーライフ～  
期間：2014年2月25日(火)～3月9日(日)  
場所：ギャラリーTEN 台東区谷中2-4-2

2013年9月に解体された明治の「のこぎり屋根工場」の報告と保存された骨組みの活用提案、歴史を活かした町への希望、そして今後の展望を語り合い、模索すべく開催いたしました。

藍染川ファクトリーライフの取材や、展示会の告知など、多くの方々にご協力いただきました。

また、この展示は、ギャラリーTENさま、澁澤倉庫さまの協賛により可能になりましたことも付け加えておきたいと思います。お世話になりましたすべての皆様に、深くお礼申し上げます。

2週間で約350人のお客様にご来場いただきました。展示会ではたくさんの示唆に富む提案をいただきましたが、いまだ具体的活用先は見つかっておりません。この晩秋に、バージョンアップして再び谷中のご屋根展開催の予定です。活用のアイデア、活用先としての受け入れ、展示の助っ人など募集しています。声をかけてください。谷中のご屋根会：nokoyane@yanesen.com



場所：HAGISO  
11/18～12/7



## 展示会の様子

## のご屋根展の12日間

### 展示内容

1. 谷中ののこぎり屋根工場について  
リボン工場としての誕生～旭プロセス製版での活用～解体  
展示可能な保存資料(野地板・滑車・窓・灰皿など)  
トラス組(3角構造の骨組み)の原寸を再現  
各地ののこぎり屋根活用状況
2. 藍染川・谷田川流域の町の成り立ちと産業について
3. 町の景色をつくる建物～木造建築や空間の変遷



### 期間中の催し

3月1日レセプション  
谷中のご屋根解体の様子、  
丁子屋ご主人インタビュー映像、ノコギリ音楽。

3月4日(火)ミニトーク①根津の丁子屋主人、村田庄司さん  
明治からのお仕事のこと、町の移り変わり、建物のことなど。

3月7日(金)ミニトーク②東京都議会議員、服部ゆくおさん  
暮らしや産業、建物を、これからの町に「生かす」意義と方法。  
立命館大学歴史都市防災研究センターで、京都の町家の防災政策を担った  
益田兼房さんから、谷根千の町でもできる防災についてミニレクチャーもありました。

3月8日(土)ミニトーク③高山医療機械製作所・高山隆志さん  
医療機器を作る谷中で4代目の若社長。脳外科医の要求にこたえ、手術道具を作る。何を求め、何をを目指すのか・・・  
それを知るための努力と楽しさを語ってくれました。

